

## 平安女学院がマスコミに報道されました！！

英語弁論府大会 3位入賞の  
杉本晴香さん（中学2年）

第27回 京都SeeLフェア  
in 平安女学院

**全日本中学校英語弁論府大会**

**代表に福島、田端、杉本さん**

高円宮杯第5回全日本中学校英語弁論大会読売新聞社JNSA基金主催、コカ・コーラウェストホールディングス協賛の府大会が30日、中央区の読売京都ビルで開かれた。弁論部門は、1位に京都市立西京高付属中3年福島悠介君（14）、2位に京都文教中3年田端真樹さん（14）、3位に平安女学院中2年杉本晴香さん（13）が選ばれた。3人は11月に東京で開催の中央大会に府代表として出場する。弁論部門11人、暗唱部門28人が参加。同志社大言語文化教育研究センターの西納春雄准教授らが見守る中、発音や表現力、内容を審査した。人間の持つ力について発表をした福島君は、「どうすれば多くの人に伝わるかを考え、本番を楽しめた。中央大会でももっと楽しみたい」と笑顔を見せた。

昨年も中央大会に出場した田端さんは、オーストリアでの差別経験について語り、「中央大会では昨年以上にベストを尽くしたい」と抱負を述べ、親友の死と思い出を語った杉本さんも「今日が一番いい出来栄。中央大会も頑張りたい」と話した。

暗唱部門では、1位に京都市立西京高付属中2年大山理穂さん（14）、2位にノートルダム女学院中2年新垣祐希さん（14）、3位に同志社中3年山崎瑞貴君（14）が選ばれた。

中央大会出場を決めた左から田端さん、福島君、杉本さん、京区の読売京都ビルで。

市新聞社 JNSA 基金（日本学生協会）  
府省 文部科学 都道府県教育  
り・コーラ



2007年10月1日(月)読賣新聞 朝刊

料亭料理や美容プロの技間近に  
平安女学院で催し  
上京区の平安女学院で30日、料理店や美容室などの業界団体と同学院が主催してプロの料理教室などが受けられるイベントがあり、家族連れや若者らでにぎわった。

イベント名は「京都SeeLフェア」。府内の飲食業や美容業など16業種の同業組合でつくる財団法人「府生活衛生営業指導センター」（山岡景一郎理事長）が毎年、府内各地で開催している。

上京区の料亭「天喜」店主石川輝夫さん（62）らによる料理教室に参加した滋賀県高島市の主婦横井多恵子さん（72）は「材料を切るとき、人がおいしく感じる大きさは3センチなど、プロの考え方を教わった」と話していた。

2007年10月1日(月)朝日新聞 朝刊



◆参加者は、各事業者が設けた屋台で焼き鳥や肉まんなどの味を楽しんだ。銭湯好きを選ばず行事や生徒の写真展、プロが指導するそば打ち体験など多彩な催しがあり、会場は、和やかな雰囲気になった。

◆京都府生活衛生営業指導センター主催の「京都SeeLフェア」が三十日、平安女学院（京都市上京区）であり、生活衛生関連事業者や地域住民、同女学院中高の生徒らが交流を深めた。写真。

◆理容店や公衆浴場、旅館、飲食店など生活衛生にかかわる事業者の活性化を目的に毎年開かれており今年で二十七回目。あいにくの雨だったが、親子連れらが訪れた。

2007年10月1日(月)京都新聞 朝刊